

宇土市民会館施設 指定管理者
令和4年度 管理運営評価票

所管課：文化課文化係

I 施設の管理概要

指定管理者名	NPO 法人 宇土の文化を考える市民の会
指定期間	第4期:令和3年4月1日～令和8年3月31日
指定管理料	37,000,000円(令和4年度分)

II 管理運営の評価

1 提案内容の実施状況

提案内容	実施状況
多種多様な優れた芸術文化鑑賞機会の提供	令和4年度は開館50周年記念事業もあり、クラシックコンサートから有名ピアニストのリサイタル、NHK ラジオの公開録音、映画祭、寄席や伝統芸能等、例年以上に様々なジャンルの芸術文化鑑賞機会を提供し、市内外から多くの観客が訪れた。
市民の皆様の文化活動支援	地元で活動する太鼓演奏団体を中心とする実行委員会が「宇土太鼓祭」を開催し、企画運営において支援した。 また、50周年事業の最後となる春の音楽の祭典では、市内外の9団体が出演し、宇土市児童合唱団がこの公演を最後に解散した。
教育普及活動	アウトリーチ事業として2年目となる今年は、ダンス、コレペティ(オペラ歌手にピアノ伴奏をしながら音楽稽古をつける)、和太鼓の専門家3人が市内小中学校や地域に出向き、活動を行った。ダンスプログラムでは、特別支援学級の生徒を対象に実施し、学習成果発表会で見事に表現する姿が感動を与えた。 また、昨年に引き続き宇土市在住のピアニスト森尚子さんによるプログラムでは、実施前後で子供たちに大きな変化があり、効果が感じられた。
地域貢献・地域との連携	地域伝統芸能祭では、昨年17年ぶりに復活した「松山花棒踊り」の上演の際に、かつての地元五色山の風景を描いた背景幕を作成し、当時の情景を思い起こさせるような舞台となった。

【評価】

コロナ禍の影響があったものの、開館50周年事業もあって令和4年度は例年になく多くの事業を行っている。中でもショパンコンクール入賞者の「小林愛実ピアノリサイタル」は、コンクール前に申し込んでいたものがコロナ禍で延期となったため、偶然にも格安の料金で人気ピアニストを呼ぶことができたが、圧倒的に市外からの観客が多く、チケットも早々に完売した。地方の公共ホールで一流の演奏を聴くことができる貴重な機会となったが、それ故に観客の評価も厳しく、駐車場不足による混乱や座席の不評、トイレの混雑など施設に関するありとあらゆる不満が噴出していった。観客も音楽に造詣が深い方が多く、音響や演出にも厳しいご指摘があった。今後の教訓となった。

開館50周年事業では、50年前にもこけら落とし公演で出演頂いた「熊本交響楽団」によるガラコンサートを実施した。当時演奏された曲目や馴染みのある演目などで観客を楽しませ、観客もオーケストラの演奏を堪能していた。

また、「うと歌謡祭」をはじめ、「地域伝統芸能祭」、「宇土太鼓祭」、「春の音楽の祭典」は、地域住民等が参加して実施する恒例事業となっており、毎年出演者やその関係者で賑わっている。「地域伝統芸能祭」では、長く休止状態であった「宇土松山の花棒踊り」を復活させ、当時の情景を背景幕で再現させるなど、地域伝統芸能の維持・発展に大きく貢献している。

2 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
■ 貸館事業活性化			
1. 施設利用率	ホール 70% 大会議室 70% 会議室 85%	73.7% 68.9% 81.4%	
2. 利用者数	70,000 人	37,117 人	
3. リピーター利用率	65%	45.2%	
4. 利用料金	10,800,000 円	12,457,376 円	
■ 自主文化事業活性化			
1. 各分野文化事業の開催数 ① 鑑賞型 ② 普及啓発・育成型 ③ 参加創造型	① 7 回以上 ② 10 回以上 ③ 3 回以上	① 6 回 ② 20 回 ③ 3 回	全国公立文化施設協議会加盟中規模館年間平均事業数 11.93 回 ※ ①～③合計
2. ファンドレイジング実績	年間 2,000,000 円以上	9,481,410 円	うち 6,528,000 円は宇土雨乞い大太鼓魅力再発見事業実行委員会として採択
3. ボランティアスタッフ受入数	年間延べ 30 名以上	延べ 32 人	
4. アンケートの公演満足度指数	大変満足・満足が 80% 以上	平均 90.3%	
【点検・調査結果及び評価】			
貸館事業においてはホールは目標値を超え、その他は目標値には届かないまでもかなり近い実績を挙げている。また、自主文化事業においては、鑑賞型は目標値にあと少し届かないものの、普及啓発・育成型は目標値の2倍に達しており、よく健闘していると評価できる。			

3 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	実施日	内容
清掃	通年	会議棟: 毎日職員で清掃 大ホール: 利用時に専門業者・職員による清掃 137 回(大ホール、楽屋等 78 回、客席 59 回)
保守・点検	4/21～22	舞台照明設備保守点検(年 1 回) ※耐用年数超過機材あり
	3/31	舞台音響保守点検(年 1 回) ※調光基板・調光卓更新時期超過
	4/10、8/11、11/9、3/12	エレベーター点検(年 4 回)
	5/31、7/26、9/13、11/15、1/17、3/28	舞台機構設備保守点検(年 5 回)

		※吊ロープ、ワイヤー、操作盤基板他交換年数超過・点検判定降格項目多数
	熊本ボイラメンテナンス 4/26、10/25、11/4 東芝キャリア(株) 4/26 日本ボイラー協会 10/26	大ホール用ボイラー・冷凍機保守点検 ※11月～3月は運転員が自主点検実施
	8/16	建設設備定期検査(年1回)
	9/5	防火対象物定期点検(年1回)
	11/30、3/28	消防設備保守点検(年2回) ※スプリンクラー設備動作不可。防火扉不具合あり。
	3/23	ピアノ保守点検(年1回) ※グラントピアノ響板破損
保安・警備	4/14、5/11、6/13、7/11、8/9、9/1、 10/5、11/8、12/9、1/14、2/10、3/9	電気安全管理(毎月1回)
	通年	警備委託
施設維持管理	通年	環境衛生管理・舞台業務委託
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>法令を遵守し、各種の保守・点検業務等が適正に行われている。建設から50年が経過し、施設や設備、備品の老朽化が激しい。令和4年度は大ホールホワイエの空調設備の改修を行った。令和5年度は舞台緞帳の補修、吊物操作盤の修繕、屋根防水改修工事を予定している。指定管理者と協議しながら、これから数年かけて優先順位を決めて計画的に行っていく。</p>		

② 運営事業実績（主な事業・イベント）

事業・イベント名	開催期日	参加者数	内容
■貸館事業	※ 利用状況実績については、次項「4 利用状況」参照		
■自主文化事業			
NPO 事業サロンコンサート 「日野妙果&森尚子 春の宵コンサート」	4月3日 (日)	78名	長年ウィーンで活躍しているメゾソプラノの日野妙果さんとピアノ伴奏の森尚子さんによるサロンコンサート。今回はリクエスト方式で、メニューの中から観客が選曲する方式で開催。
本物の芸術鑑賞事業・公文協アートキャラバン事業 「熊本交響楽団ガラコンサート」	7月4日 (月)	昼の部 400名 夜の部 268名 計 668名	50周年事業第1弾として1972年宇土市民会館のこけら落とし公演をつとめられた熊本交響楽団によるガラコンサートを開催。当時演奏された演目を含む、華やかで機器馴染みのあるプログラムに、観客の満足度も高い公演となった。
第5回ステレオコンサート	7月10日 (日)	88名	開館50周年にちなんで、1960年代から70年代にかけての邦楽や洋楽を中心としたラインアップで実施した。感染症対策のため大ホールで開催し、広い空間で懐かしい音楽を堪能していただいた。
第7回 宇土映画祭 「人生ドライブ」	8月7日 (日)	85名	宇土市で暮らす大家族 岸さんをKKTが21年にわたって追いかけたドキュメンタリー映画「人生ドライブ」を2回上映。上映前後に舞台挨拶もあり、地元ならではのあたたかな雰囲気にも包まれていた。
NHK ラジオ深夜便公開録音	9月10日 (土)	251名 (座席を400席に限定)	開館50周年事業として主に市主催で開催。講演に熊本出身のタレントコロケさん、アンカーは須磨佳津江さんと山下信さんが担当され、県外からも多くの来客があった。
熊本県立劇場ネットワーク事業 「鼓童ワンアースツアー『鼓』」	9月17日 (土)	プレ事業 150名 A席 333名 B席 183名 計 666名	3年ぶりとなる鼓童ワンアースツアー公演を開催。関連企画もあわせ熊本県芸術文化祭参加事業・熊本県立劇場ネットワーク事業として熊本県立劇場・KKT共催で実施した。県内太鼓団との交流プログラムも複数回実施した。

小林愛実ピアノリサイタル	9月23日 (金・祝)	A席 480名 B席 203名 計 683名	2021年ワルシャワで開催された「第18回シヨパン国際コンクール」で第4位入賞された小林愛実さんの熊本県での初リサイタルということで、チケットは2週間で完売となった。世界トップクラスの演奏に会場は熱気に包まれており、アンコールに3曲も演奏いただいた。
文化庁アートキャラバン事業 「うと寄席」	10月13日 (木)	A席 275名 B席 134名 計 409名	『笑点』の司会を務める春風亭昇太、一昨年真打に昇進した桂伸衛門、三味線を見事に操る音曲師桂小すみや春風亭昇りんらによる豪華な顔ぶれで、「ちりとてちん」「かつぼれ踊り」、オリジナルの唄で会場を大いに沸かせてくれた。
第20回 うと歌謡祭	(予選) 10月15日	出演者 96名 来場者 335名	開館50周年記念となる「うと歌謡祭」。予選会では9歳から79歳までの老若男女93組が出演。今回は県外も多く、大分、宮崎、鹿児島、佐賀からの参加もあった。予選を勝ち抜いた16人による決勝大会には、激戦を制し宇土市からも2人が決勝に残った。
	(決勝) 10月16日	出演者 16名 来場者 300名	
NPOプレゼンツ事業 『オズのまほうつかい』 (むすび座)	12月18日 (日)	大人 185名 子ども 194名 計 379名	創立55年、多くの受賞作品を持つ「人形劇団むすび座」による大ホール用作品『オズのまほうつかい』を、NPO法人宇土の文化を考える市民の会がプレゼンツ事業として特別料金で開催した。
新春ゲッターズ飯田開運ト ークライブ	1月8日 (日)	1回目 701名 2回目 694名 計 1,395名	11月に企画会社から打診があり、急遽共催で一日2回公演を決定、12月1日からチケットを販売開始したところ完売した。30～50代の女性と市外からの参加が多かった。
文化庁地域文化財総合活 用推進事業 第7回地域伝統芸能祭	2月19日 (日)	出演者 120名 来場者 230名 計 350名	地域に根付く伝統・伝承芸能を広く知ってもらう機会と、継承団体にとってのハレの場を提供するための祭典として7回目の開催となる。今回は「宇土御獅子舞」「宇土雨乞い大太鼓」「松山花棒踊り」のほか、天草市から「牛深ハイヤ踊り保存会」に出演していただいた。
宇土太鼓祭 ～伝統と革新～	3月5日 (日)	プレ事業 760名 一般 308名 学生 49名 出演者 50名 合計 1,167名	宇土太鼓祭実行委員会が主体となり、プレ事業として小中学校での学校公演・ワークショップ(3校)と、西岡神宮での新年初打ちを行った。宇土太鼓祭は若手太鼓奏者達による企画運営演出の太鼓の祭典。2月の地域伝統芸能祭から引き続き地区保存会の方と実行委員会との交流の機会を設け、城塚・宮庄・引の花雨乞い大太鼓の伝統的なリズムと、近年の和太鼓楽曲とを織り交ぜた公演を作り上げた。
第7回 春の音楽の祭典 (サロンコンサート兼)	3月12日 (日)	一般 245名 学生 45名 会員 37名 出演者 150名 合計 477名	開館50周年事業のフィナーレとして「50周年を皆で祝おう！」をテーマに宇土・宇城の合唱団・吹奏楽団と、ゲストに家族コーラス「左座家」・八代白百合高校吹奏楽部を迎えて開催した。第1部では8団体が出演し、50年前のヒット曲や市民会館での思い出深い曲、これからも大切にしたい曲などを演奏した。第2部では八代白百合高校吹奏楽部が若さ溢れる演奏、踊り、パフォーマンスを披露した。
アウトリーチ事業	通年	・葉山悠介(ダンス) 2校 7コマ 223名 ・森尚子(コレペティ)1校 3コマ 125名 ・高田大介(和太鼓) 2校 7コマ 209名 合計(延べ) 5校 17コマ 557名	ダンスプログラムでは、特別支援学級の生徒を対象に実施され、学習文化発表会で普段見られないような生き生きと表現する姿に、先生方が涙されるほどだった。歌唱指導では、短い時間で子ども達の声量も雰囲気も大きく変わり、その変化の大きさに先生方が驚かれた。

【点検・調査結果及び評価】

今年度は会館 50 周年記念事業もあり、例年以上に事業が目白押しだったが、概ね大過なく開催できていると言えるが、やはりアンケート等で評価が低かったのは施設に関する内容であった。特に小林愛実ピアノリサイタルやゲッターズ飯田開運トークライブなど、チケットが完売するような人気の催事の場合は、周辺地理に詳しくない市外の方も多く、駐車場が不足している上に案内もスムーズにできず、大きな不満の原因となっていた。また、女性客が多かったのに女子トイレの水が流れにくいということもあり長蛇の列となっていて、休憩時間が足りなくなる程だった。大ホールの客席の座面が固いという不満も例年どおり多く、指定管理者では対応できないハードに関するものが多かった。

これらの改善には大規模な施設の改修を伴うものが多いため、すぐには解消することができないが、指定管理者と協議しながら計画的に改修を行っていく。

駐車場案内については、ピアノリサイタルでの苦情を受け、その後は専門の警備会社に委託することで多少改善できている。駐車場不足は長期的な課題である。

4 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
	開館日数		357 日	357 日
大ホール	利用可能日数	357 日	357 日	増減なし
	利用日数	273 日	215 日	58 日増
	利用率	76.3%	60.2%	16.1 割増
	入場者数	23,573 名	9,752 名	13,821 名増
大会議室	利用可能日数	357 日	355 日	2 日増
	利用日数	244 日	237 日	7 日増
	利用率	68.2%	66.8%	1.4 割増
	入場者数	6,333 名	6,423 名	90 名減
その他会議室	利用可能日数	307 日	307 日	増減なし
	利用日数	249 日	254 日	5 日減
	利用率	81.1%	82.7%	1.6 割減
	入場者数	5,939 名	5,122 名	817 名増
ギャラリー	利用可能日数	307 日	307 日	増減なし
	利用日数	45 日	12 日	33 日増
	利用率	14.7%	3.9%	10.8 割増
	入場者数	1,272 名	437 名	835 名増

【点検・調査結果及び評価】

感染症対策も次第に緩和され、今年度は開館時間の短縮や休館することはなかったため、利用状況は利用日数・利用率ともほとんどの施設が増となっている。大ホールも 50 周年事業をはじめ、一般の利用も増えており、徐々に回復してきている。今後はコロナ禍前の日常生活に戻ることが予想されるため、各施設の利用状況もさらに改善していくものと思われる。

5 管理経費の収支状況

① 収入

項目	内容	金額(円)	
指定管理料	指定管理料	37,000,000	
利用料金収入	会議室	大会議室・他会議室・ギャラリー	4,199,266
	大ホール		2,600,471
	付帯設備・空調		5,657,639
自主事業収入	自主事業		6,627,900
	助成金		3,890,410
雑収入	自動販売機販売手数料 他	934,556	
合 計		60,910,242	
		収納未済額	0
		うち利用料金未収入分	0

② 支出

項目	内訳	金額(円)
人件費	給料・旅費日当・臨時賃金・法定福利費等	17,478,423
施設管理費	需用費・役務費・委託費・賃借費・備品	27,677,643
事業費	自主文化事業費	12,419,089
事務費	需用費・役務費・負担金・租税公課費・法人税等	3,334,557
合 計		60,909,712
【点検・調査結果及び評価】		
<p>50周年記念事業による自主事業の増加や大ホールの利用増により収入は増えているが、その分、運営に係る人件費や光熱水費等が増えている。特に最近では電気料金の高騰により、市の電気代高騰対策給付金がなければ大幅な赤字となっていた。今年度は給付金によってかろうじて黒字となったが、今後も電気代や燃料費が高騰すると、厳しい収支となることが予想される。光熱水費の増加は、指定管理者の経営努力だけでは対処できないため、いずれ利用料金の増額などが必要となってくると思われるが、極力料金増を行わなくてよいように助成金などの情報を集め、活用していただきたい。</p>		

③ 人件費における最低賃金の確認

※最低賃金（熊本県）→最低時間賃金（853円）効力発生年月日 令和4年10月1日

雇用形態	最低賃金を満たしているか(適 or 不適)
正規職員	適
非正規職員	適
その他（ ）	

6 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	各イベント時に来場者へアンケート調査を実施。(回収者数) ①令和4年4月3日 日野 妙果・森 尚子 サロンコンサート(45名) ②令和4年7月4日 熊本交響楽団ガラコンサート(183名) ③令和4年7月10日 第5回 ステレオコンサート(59名) ④令和4年8月7日 宇土映画祭「人生ドライブ」(57名)
	調査方法	⑤令和4年9月10日 ラジオ深夜便の集い(195名) ⑥令和4年9月17日 鼓童ワンアースツアー「童」(262名) ⑦令和4年9月23日 小林愛実ピアノリサイタル(247名) ⑧令和4年10月13日 うと寄席(283名)
	調査対象数	⑨令和4年10月15日 うと歌謡祭 予選(68名) ⑩令和4年10月16日 うと歌謡祭 決勝(70名) ⑪令和4年12月18日 むすび座「オズのまほうつかい」(99名) ⑫令和5年1月8日 ゲッターズ飯田開運トークライブ【午前の部】(355名) ⑬令和5年1月8日 ゲッターズ飯田開運トークライブ【午後の部】(278名) ⑭令和5年2月19日 地域伝統芸能祭(121名) ⑮令和5年3月5日 宇土太鼓祭～伝統と革新～(172名) ⑯令和5年3月12日 第7回春の音楽の祭典(174名)
調査結果	別紙アンケート結果参照	
利用者からの意見等		
【評価結果及び評価】		
<p>依然としてコロナ禍が続いているものの、次第に感染症対策も緩和されてきて、人数制限なしで観客を入れることができた。このような中、開催した催事でのアンケート結果は催事そのものへの評価は概ね好評であり、利用者の芸術鑑賞への渴望感がうかがえる。自主文化事業等の内容やスタッフの対応についても非常に満足度が高く、指定管理者の努力の結果と評価できる。</p>		

7 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
<ul style="list-style-type: none"> ・椅子が固く腰が痛いです。 ・椅子の向きが真っ直ぐなので、両端は体をステージに向けなければならず疲れた。 ・座席が狭すぎる。隣の人とぶつかる。設計ミスだと思います。 <p>他同様のご意見多数</p>	<p>座席座面、客席傾斜角度、階段の高さの苦情は、次号アンケートで毎回出ており、平成27年度の初回モニタリング調査から報告をしている。</p> <p>大ホール客席階段は現行建築基準法では既存不適格で、座面交換や座席間隔の課題は休館を伴う工事となり、改修費用も指定管理者で負担できるものではないため、公共施設個別計画ならびに長寿化計画に織り込む必要がある。</p> <p>利用者に対しては負担・危険緩和のために、客席扉での注意表示や、ブランケットの貸し出し・手すり塗装・危険箇所には反射シール貼り付け等を行っている。</p>
<p>駐車場を増やしてほしい</p> <p>他同様のご意見多数</p>	<p>近隣施設(鶴城中・老人センター・体育館)に協力頂き、催事の際の臨時駐車場として利用させて頂いているが、土日などは当該施設と催事が重なることが多く、結果的に駐車場が不足する事案が多数起こっている。</p> <p>駐車場問題は開館当初からの課題であり、立体駐車場化も視野に改修を要望したい。</p>
<p>トイレの洋式を増設してほしい</p> <p>他同様のご意見多数</p>	<p>現在全館のトイレ26個中8個が和式であり(小便器を除く)、順次洋式化を行ってきている。令和7年度までに全ての和式便器を様式化できるよう、今後も継続して取り替えを行っていく。</p>
<p>宇土市民会館のインスタアカウントを開設し</p>	<p>令和4年度は鼓童・小林愛実公演においてSNS広告を行い、各15,000人にリーチするなど高い広告効果を得ることができた。</p>

てほしい。広告をする場合は熊本県内に広めてほしい。	今後、現行 Facebook ページに加えて、instagram アカウントも新設し、SNS 広報に力を入れていく。
客席扉が一枚なので外の音が時々気になった。	全国的に劇場客席扉は前室を設けた二重扉構造が主流であるため、当館の構造は時代のニーズに合わないものになっている。構造上の問題のため、設置者による改修の検討をお願いしたい。
舞台床面の劣化が顕著で、本番でのきしみ音が目立ち、ささくれによる怪我の危険性がある。	平成20年改修において、本来舞台面に使用しないフローリング材が設置されており、指摘の通り多数の不具合が起こっている。ささくれやひび割れ箇所については、日常的にスタッフで補修を行っているが、そもそもの床面がピアノや大太鼓等の重量物を扱える材質ではないため、抜本的な張り替え工事が必要。改修費用は指定管理者で負担できるものではないため、設置者による改修を要望
<p>【評価結果及び評価】</p> <p>市民会館は建設から50年が経過した施設のため、苦情の多くは施設の老朽化や現在の基準に合わない設備などが主である。指定管理者及び市でも対応可能なものは順次対応してきているが、座席の交換や階段の改修、舞台床面の張替えなど長期間の休館を伴う大規模改修については、財源確保も含めて今後の課題である。令和4年度には大ホールホワイエの空調整備工事と外壁改修工事を行い、令和5年度には舞台緞帳の補修と吊物操作盤の修理、屋根防水改修工事を予定しており、優先度が高く開館運営に支障が少ないものから順次改修を行っている。大ホールの座席と階段の段差については、大規模な改修が必要となるため、今後施設全体の改修計画の中で検討していくしかない。指定管理者自身で対応可能な苦情についてはクリアできている。</p>	

8 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
予防保全の観点から早めの改修・修繕に努められているが、結果としては事後保全にならざるを得ない現状。個別計画には長寿命化が明記されており、人命に関わることは早急に対応するべきだが、費用も膨大なため平準化を見据えた上で市と協議を進めて欲しい。	毎月の月例報告において、施設設備の状況一覧ならびに見積書等を添付し、改修が必要なものについて優先順位をつけ随時報告をしている。 また、予防保全の考え方に則り、軽微な補修については可能な限り、スタッフで行い環境改善に努めている。 令和4年度はロビー空調・外壁を回収頂いたが、未だリスク評価AならびにBの「人命に関わるもの」、「公演中止にある可能性のあるもの」について改修が必要な箇所が多数あるため、今後継続してコストの平準化も見据えた上で市と協議を進めていく。
館HPにおいて空き状況が確認でき利便性は高いと感じる。ネット予約システムまで進められれば、更なる利便性向上につながるのでは。	令和4年度よりネット予約システム導入にあたっての社内研修を開始し、令和5年10月からシステム稼働を予定している。利用者にとって、より利便性の高いサービスの提供につなげていく。
<p>【評価結果及び評価】</p> <p>スタッフ対応などのソフト面やインターネット回線の整備など、指定管理者で対応可能な内容については既に対応済みであり、利用者の評価も高い。ハード面の整備についても、施設管理の委託業者で対応可能な部分は、創意工夫して対応していただいている。大規模な改修工事と費用負担を伴う設備の更新については、指定管理者と市で協議のうえ、緊急度の高いものから優先順位をつけて改善していく。</p>	

9 その他

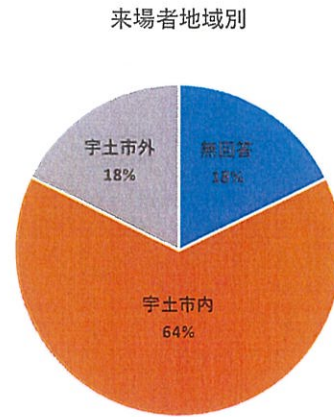
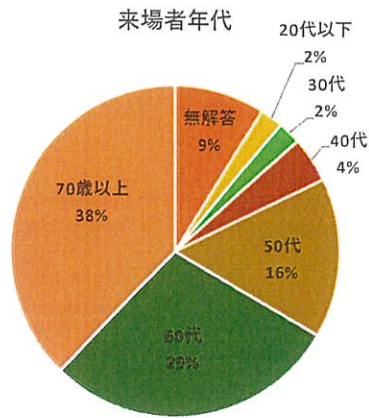
--

〔指定管理者における所管課モニタリング〕
令和4年度 管理運営評価票（準則例17）添付書類

別紙 アンケート結果

日野妙果・森尚子 サロンコンサート

令和4年4月3日（日）



感想（一部抜粋）

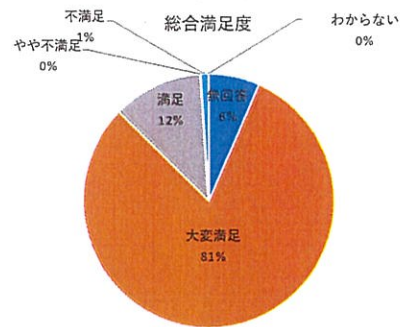
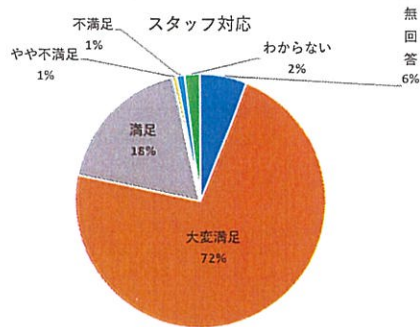
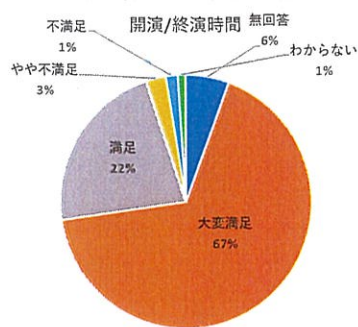
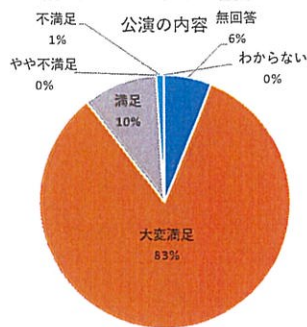
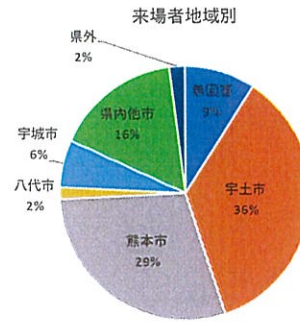
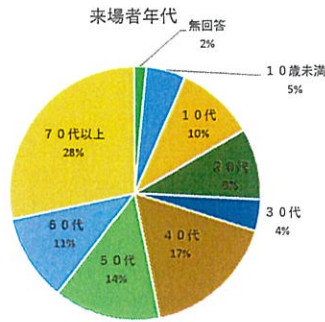
初めての形式に感動。身近でこんな事嬉しい。宵コンサートいいですね。久し振りに懐かしい曲にふれました。MENUのリクエストに対応されるのもスゴイ。もちろん解説、お話も。本日入会させていただきました。次回を楽しみにしています。

おなじみの曲ばかりで大変楽しく聞きました。もし指名されて当てられたら、なんと言おうかずっと考えていて、歌はほとんど聞いていませんでした。本格的な歌を初めて聞きました。感動しました。ありがとうございました。

おもしろい組合せだと思った。トーク&歌はとても身近で楽しかった。ピアノ演奏もすばらしかった。もちろん歌声も美しい。会場のお客様と一体となって、おもしろい取り組みだと思った。

熊本交響楽団ガラコンサート

令和4年7月4日（月）



感想（一部抜粋）

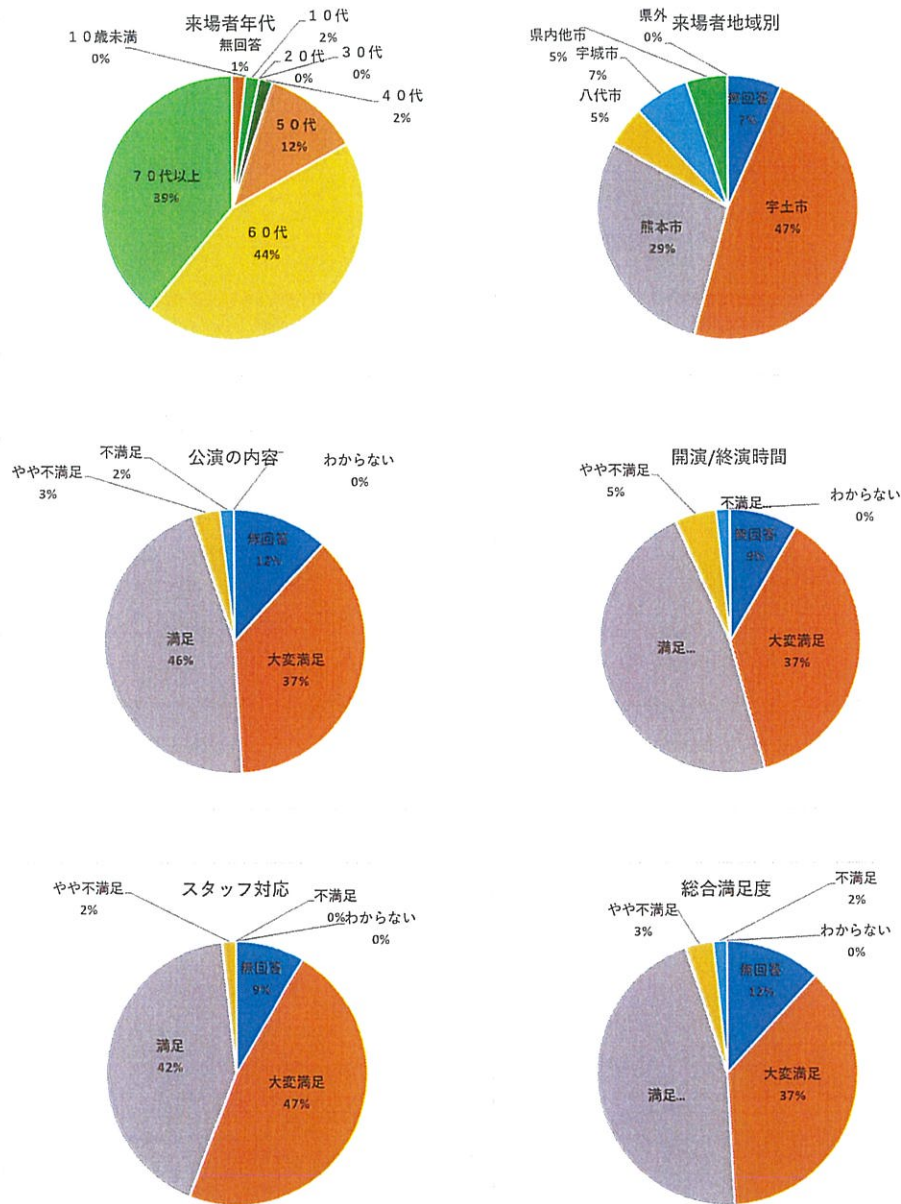
歴史ある交響楽団による演奏は、奥が深く感動しました。また、現在の世の中の騒がしさをひとときでも忘れる時間でした。楽器の紹介も大変分かりやすい説明があり、これからの音楽を聞くのに役に立つものでした。すばらしい演奏をありがとうございました。これからもご活躍をお祈りいたします。

心に響く素晴らしい演奏で感動しました。団員の皆さんの音への深い想いが、心地よく心に染み入り癒されました。音楽の力をあらためて感じる、素敵なお時間でした。ありがとうございました。楽器の紹介良かったです。

なじみ深い曲ばかりで、楽しい時間を過ごしました。特に「パイレーツオブカリビアン」が印象深かった。楽器の紹介など、クラシックを身近に思えました。「アルルの女」は迫力満点。さすがオーケストラの名曲の一つ。感動しました。

第5回ステレオコンサート

令和4年7月10日（日）



感想（一部抜粋）

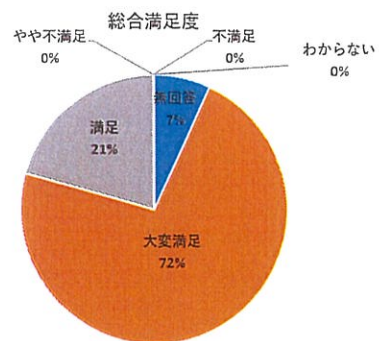
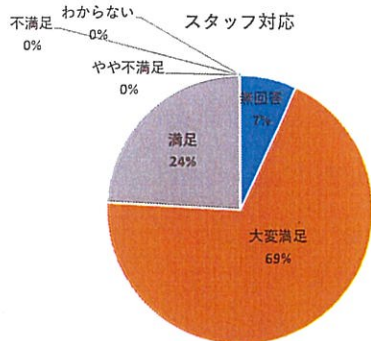
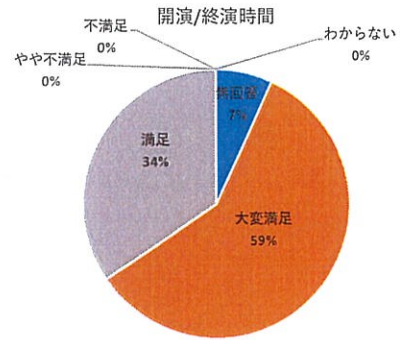
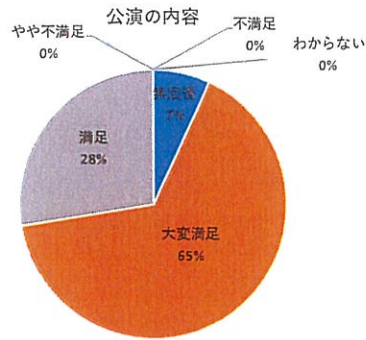
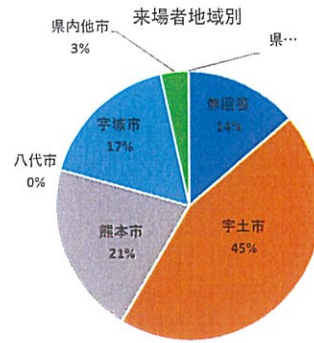
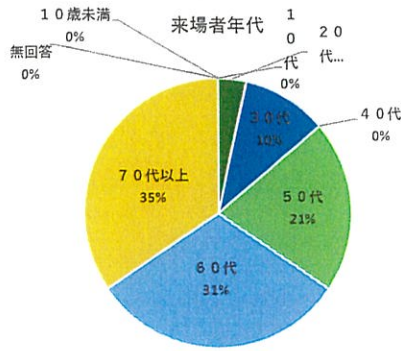
懐かしい曲が続々流れて、自分も若い頃（あの時代）に正に生きるような気持ちで楽しい時間でした。迫力ある中で聞くと、感動具合も違ってきます。

ステレオコンサートでしたが音響もすばらしく、目の前で歌っているかのように迫力があってすばらしかった。ジャケットの効果も大きかったと思います。準備など大変だったことだと思いました。ありがとうございました。

音を純粹に聴かせることが中心にあった。聞き慣れた曲中心であった。いい音で聴けたこと。レコジャケットよくありましたね。視覚的にもよかったです。

宇土映画祭「人生ドライブ」

令和4年8月7日（日）



感想（一部抜粋）

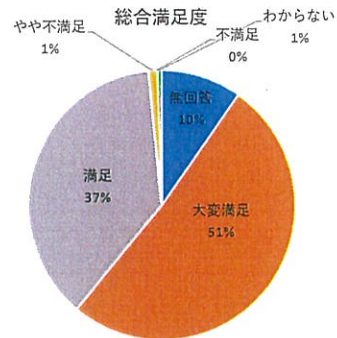
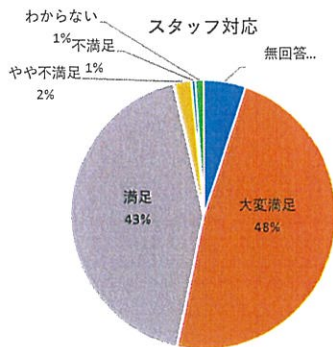
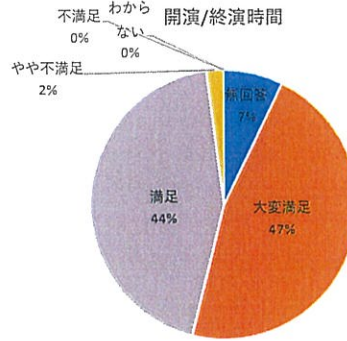
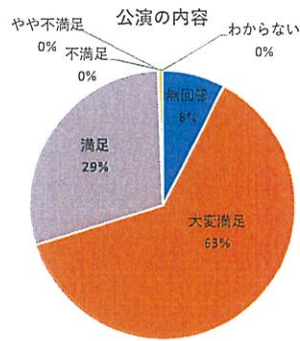
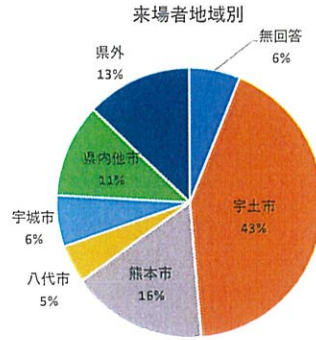
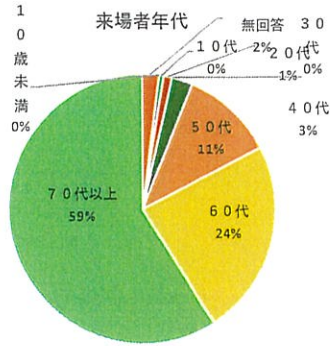
映画も良くて、岸さんのお話も聞けて大変良かったです。映画館で見る事が出来ず、偶然上映の情報を知り、見る事出来て良かったです。

岸さんご夫妻が大切にされてこられたもの、家族の何気ない日常が宝物であること、とても大切だけど目に見えないものを常に大事にし続ける意味を改めて考えさせられました。とてもいい映画でした。

監督の声がしっかりととても聞きやすく、わかりやすかった。常に家庭で笑顔をたやす事なく良いご夫婦、手本にしたいと思った。

ラジオ深夜便の集い

令和4年9月10日（土）



感想（一部抜粋）

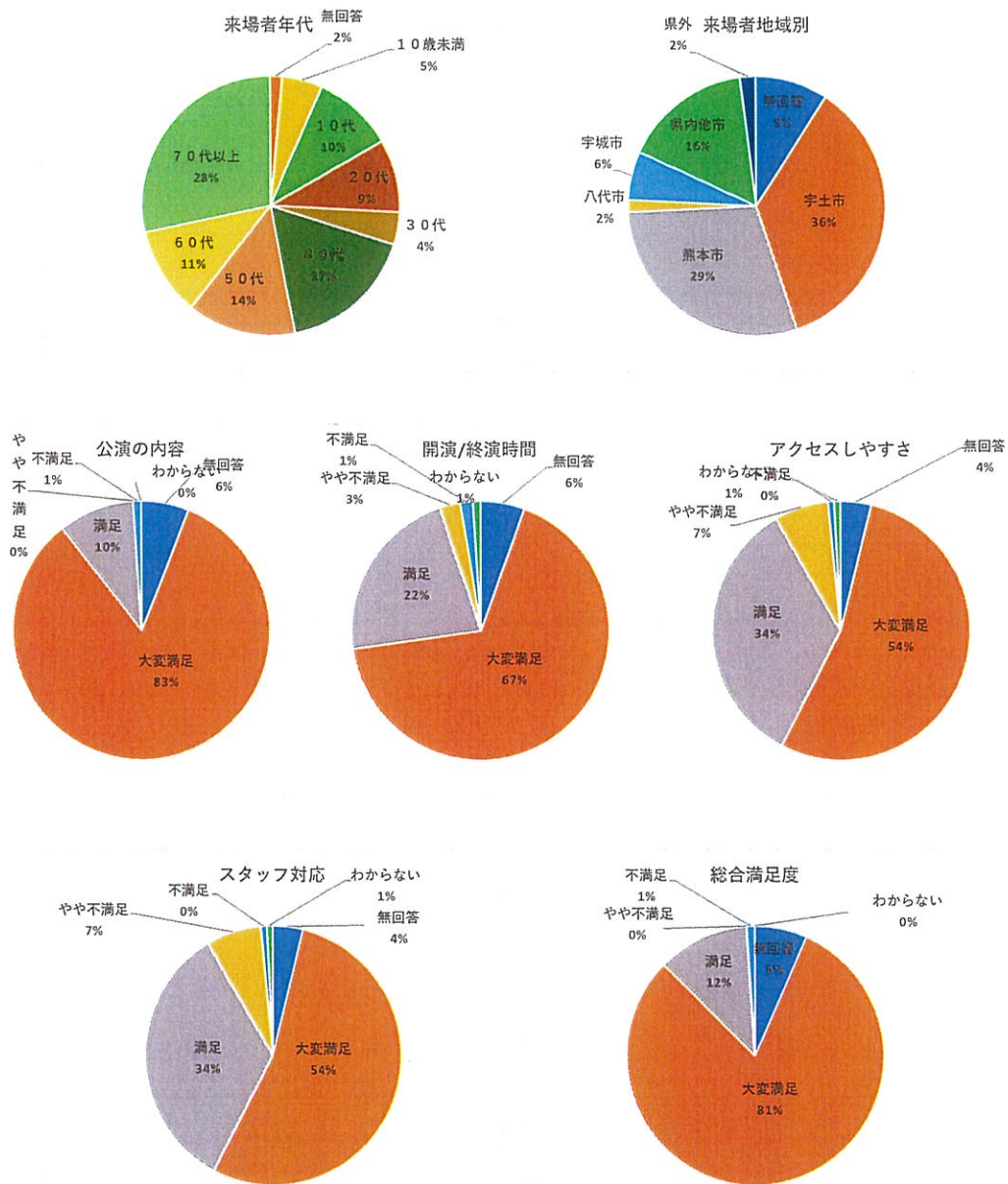
NHKが身近に感じられた。プロのアナウンサーの話を聞くことが出来た。丁寧で上質なプロの会話がとても良かった。

年配の方の参加が多かったように思います。もう少し若い方の参加もあったら良かったのに。特にコロッケさんの話の内容は、若い人にも聞かせたい内容でした。「相手が一番、自分が二番」「あおいくま」などの内容。

あおいくま(あせるな・おこるな・いばるな・くさるな・まけるな)の意味を知り、感動しました。

鼓童ワンアースツアー「童」

令和4年9月17日（日）



感想（一部抜粋）

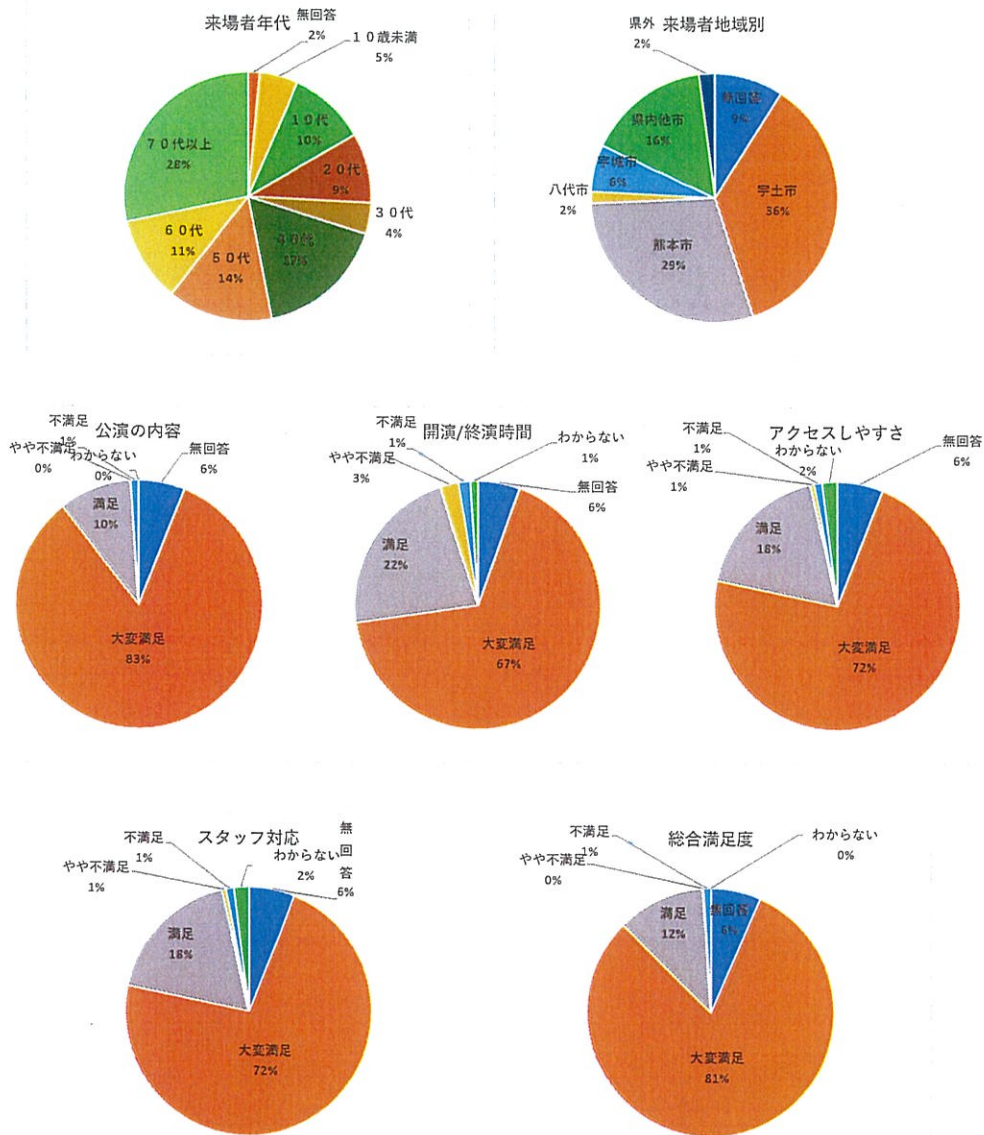
すばらしいパフォーマンスでした。鼓動を感じると同時に楽しさもあり、とても元気になりました。

鼓童が好きで毎回熊本に来るたびに行っておりますが、初めて見ました。今回の太鼓は、とてもチームワークが出来て、また機会があれば来たいと思います。

迫力・体力・気力の連続の様でした。ちょっとメンバーの皆さん心配です。いろんな楽器・歌・舞、パフォーマンスすごい。皆さんの所作に感動でした(ステキ)。見習います。また、いろいろ心に響くものを計画してください。今日はとにかくすごくて大大満足でした。

小林愛実ピアノリサイタル

令和4年9月23日（金）



感想（一部抜粋）

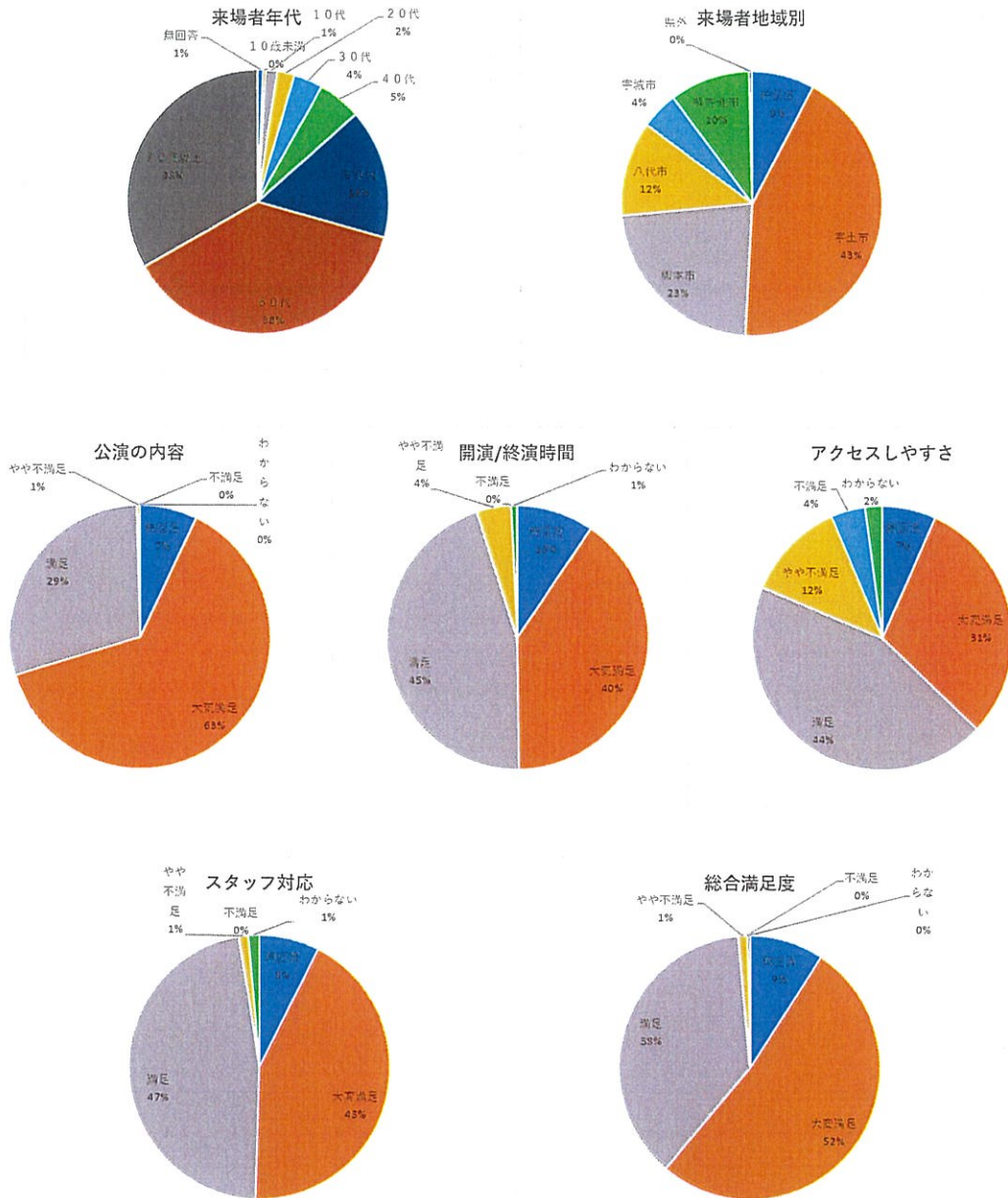
素晴らしかったです。熊本で小林さんの演奏が聞けるなんて、夢のようです。音楽のシャワーをいっぱい浴びて、心が元気になりました。アンコールもたくさん弾いて下さりありがとうございました。また熊本に来てください。

まさか小林さんが宇土に来てくださるなんて、こんな近くで演奏を聴けるなんてとてもとても幸せでな時間でした。最初から最後まで感動しっぱなしでした。小林さんの、空気にふわっと溶けていくような美しい弱音から、おなかに響く力強いフォルティシモまで、全てが素晴らしかったです。ショパンコンクールで見ている、とても素敵だなと思っていたドレスで出てくださいまして嬉しかったです。今日は本当にありがとうございました。とても素晴らしいじかんでした。小さいけれど温かみのある素敵なホールだと思いました。

小林愛実さんの生のピアノをこんな間近で聴けるなんて、人生で二度あるかないか(そもそも聴けることがない)なので、今回のような企画を本当にありがとうございました。一生の思い出になりました、最高の気持ちのまま帰路につきたいと思います。そして自分もピアノのレッスンを頑張りたいと思います。

うと寄席

令和4年10月13日（木）



感想（一部抜粋）

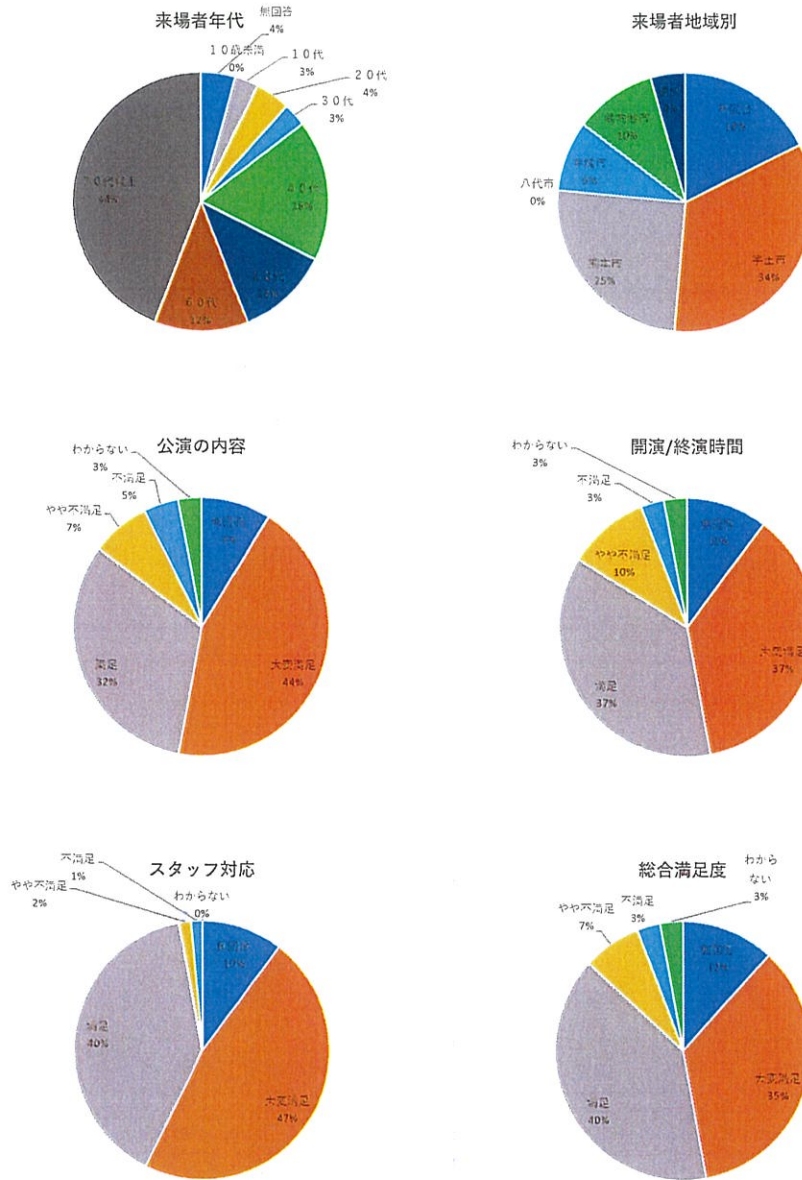
やはり「生」で聞く話芸は良い。味があり、つい引き込まれて聞き入り楽しんでいる。芸の修業が伺われ、さすがと思う。若い人は早口で良く聞き取れなかった。

地元で昇太師匠の落語が聞けるなんてとてもありがたいです（コロナのご時世でもあり）。またこれからも、他の落語家さんでもいいので、繰り返し開いてほしい。職員さんも親切に案内くださって助かりました。

初めて寄席を生で見たけど、本当に素晴らしかった。大きな声でおもいきり笑いました。ありがとうございました。

うと歌謡祭 予選

令和4年10月15日（土）



感想（一部抜粋）

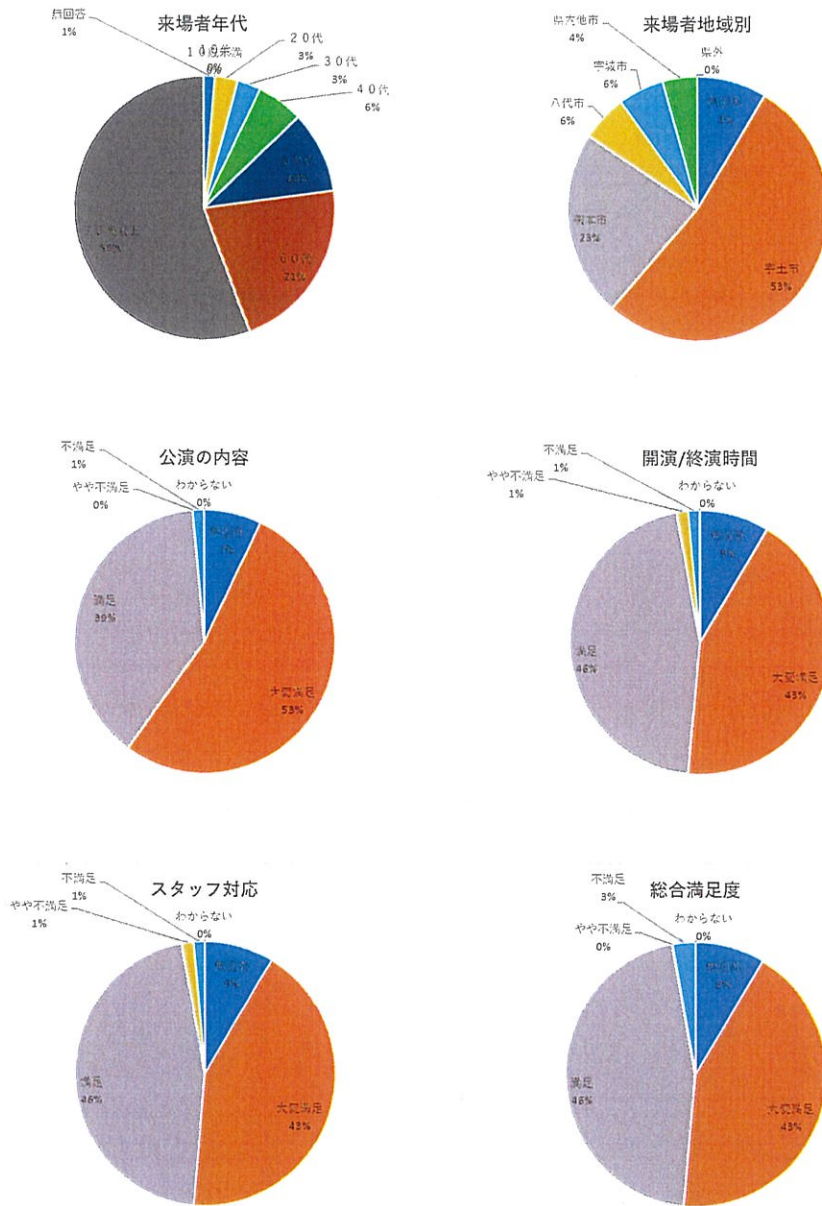
たくさんの人の歌が聞けて、とても勉強になりました。

審査員の態度が気に入らない。うと歌謡祭の品を審査員が下げてる。沢柳さん、もういらんのちゃいます？若い人の歌もわかる若い審査員にしましょう。歌い手の事を何も考えてない発言は無神経すぎる。そもそも審査員の途中コメントいらないます。

審査員の沢柳氏がとにかく最低でした。「観客におじぎしても、観客は票を持ってないですよ。票を持っているのは私たちだから、私たちに丁寧におじぎしなさい」という発言にびっくりです。出場者、そして観客をバカにした態度で残念です。来年からは審査員をしないでほしい。うと歌謡祭の品格が下がります。

うと歌謡祭 決勝

令和4年10月16日（日）



感想（一部抜粋）

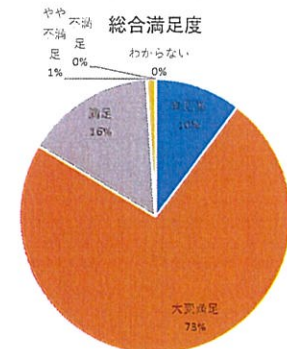
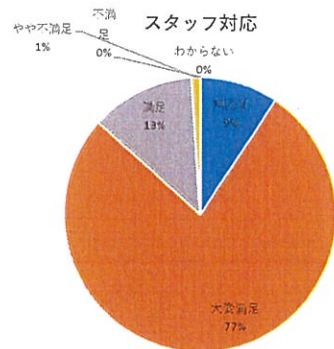
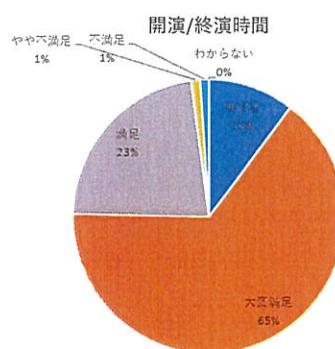
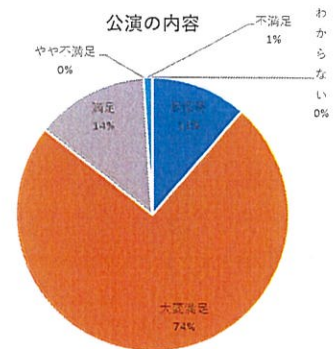
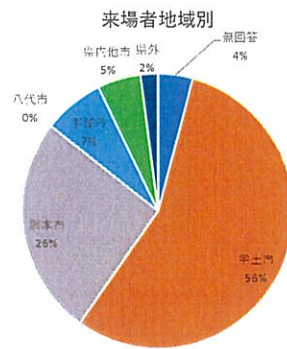
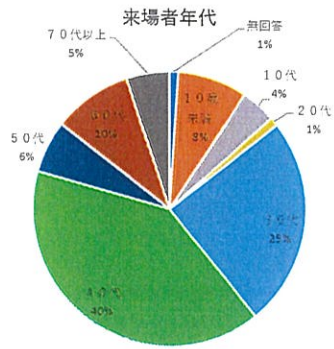
関島さんの歌とお話がとても良く、満足しました。もちろん他の出演者も良かったです。司会者もさすがに上手で、楽しく感激しました。

うと歌謡祭素晴らしいです。20回おめでとうございます。ずっと続けてほしいです。宇土をそして歌の好きな人をもっともっと盛り上げて、幸せを感じれる日々を一日でも多く増やしていけたらなと感じます。

私は、うと歌謡祭の予選会に初めて昨日参加させて頂きました。惜しくも決勝の舞台には上がることは出来ませんが、この機会に何かに挑戦するという一歩の人生だったのではないかと思います。来年またリベンジしたいと思っていますので、楽しみにしております。

むすび座「オズの魔法使い」

令和4年12月18日（日）



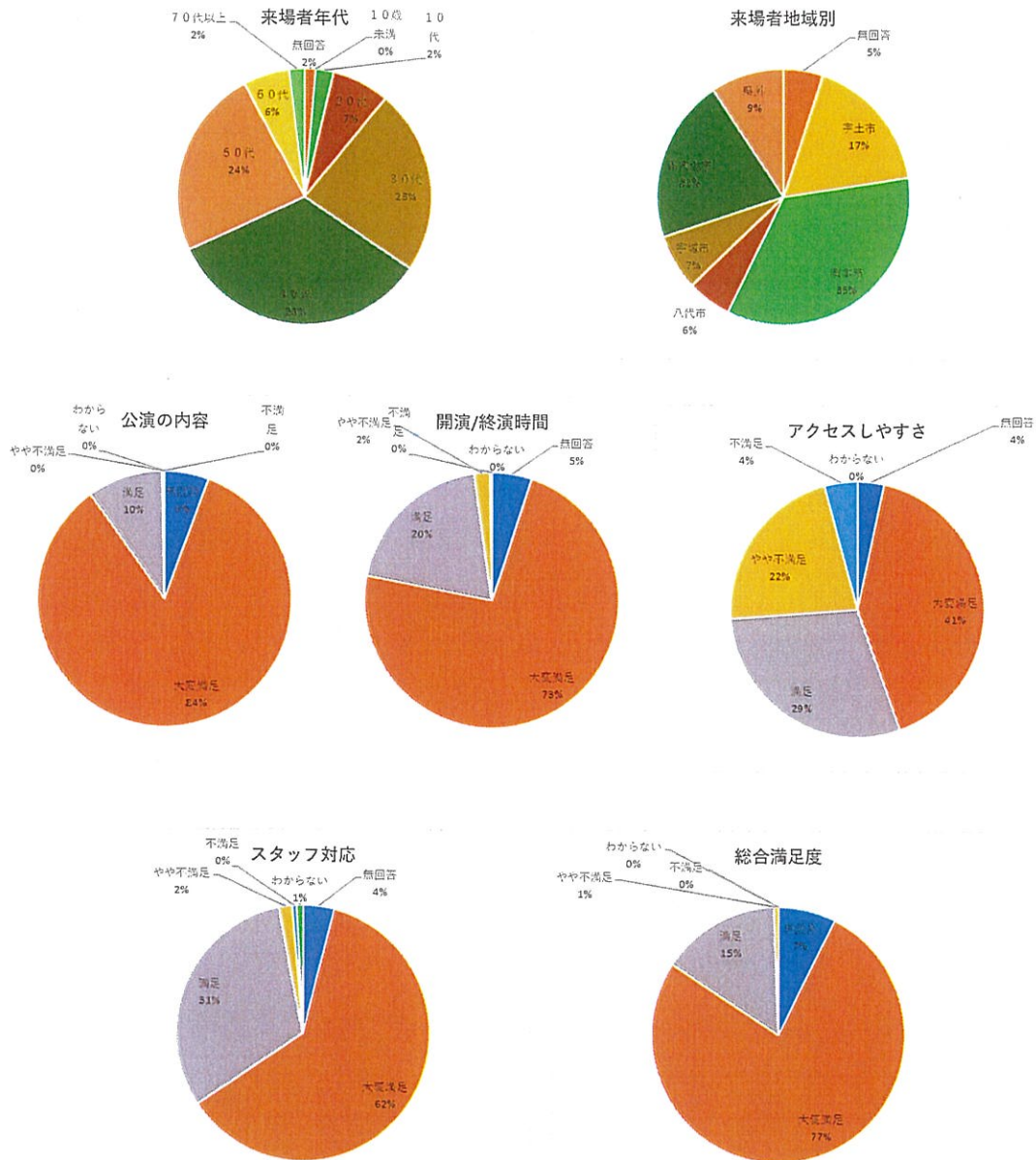
感想（一部抜粋）

大人の自分にささる内容で驚きました。「自分探しの旅、ふるさとを考えること」、サルの家来にあっさり王冠をゆずるオズのシーンが好きでした。

テンポが良く、画的にもかわいくて感動しました。泣けました。きちんとした人形劇初めて観たのですが、とても楽しかったです。

話しているメインキャラクター以外にも細かい動きをしていて、細部までこだわっていると感じた。子どもが飽きないように工夫がみられてよかったと思った。

ゲッターズ飯田開運トークライブ午前の部 令和5年1月8日（日）



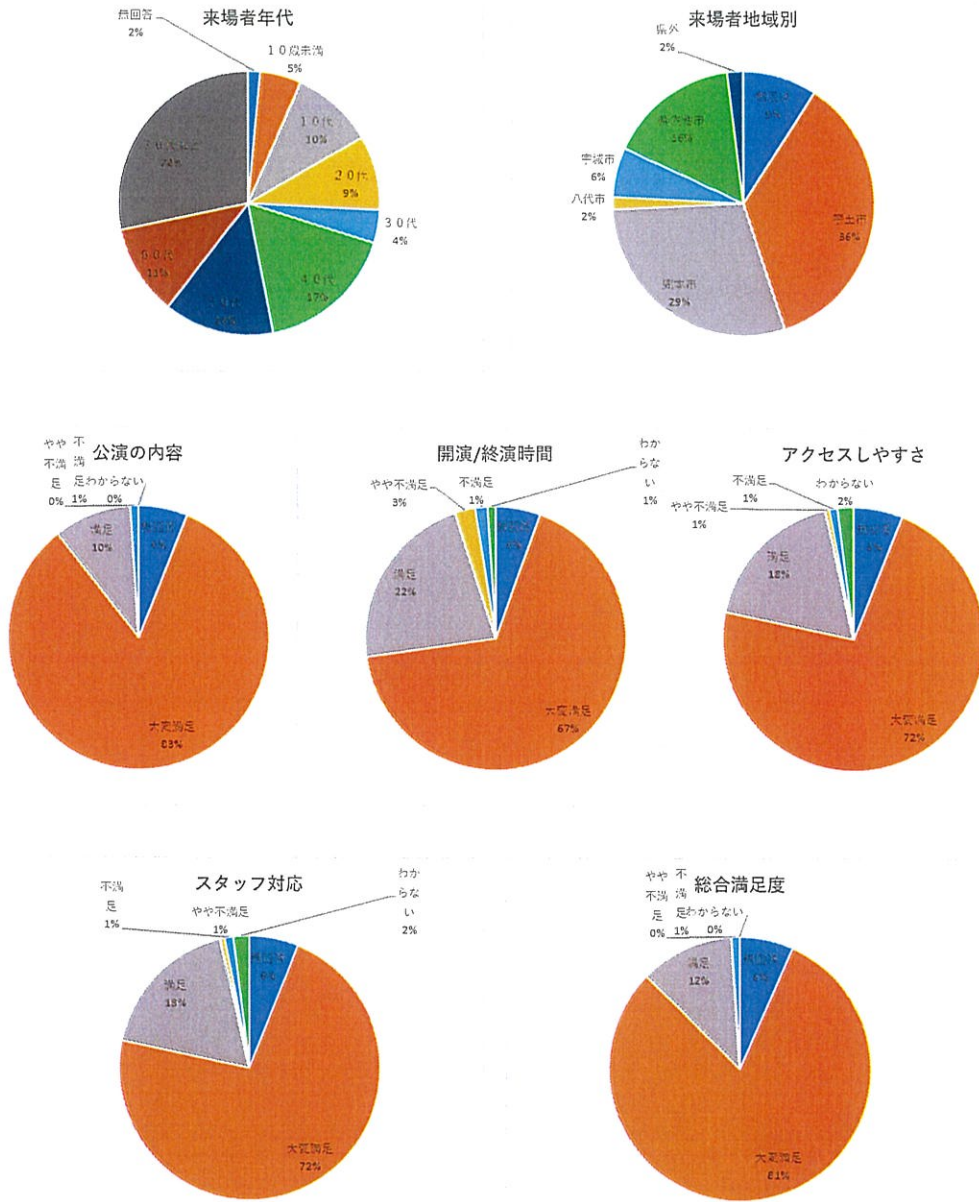
感想（一部抜粋）

笑顔を大事に、これからもポジティブに頑張っていこうと思います。今日は年始めに、素敵出会いをありがとうございました。まずは、一緒に来てくれた妹と友達が笑顔になれたことに感謝です。

2023年、年女。本当に良い“運”でスタートできました。色々な悩みもありますが、日々ささいな事にも感謝できるように生きていきたいと思っています。いつも勇気とパワーをありがとうございます。今回はゲッターズさんを選んで頂きありがとうございます。

毎日本を読み、YouTubeを聞かせて頂いています。飯田さんの声と話し方が心地良くて大好きです。毎日受信されるメッセージが、心にキュンと来ます。

ゲッターズ飯田開運トークライブ午後の部 令和4年1月8日（日）



感想（一部抜粋）

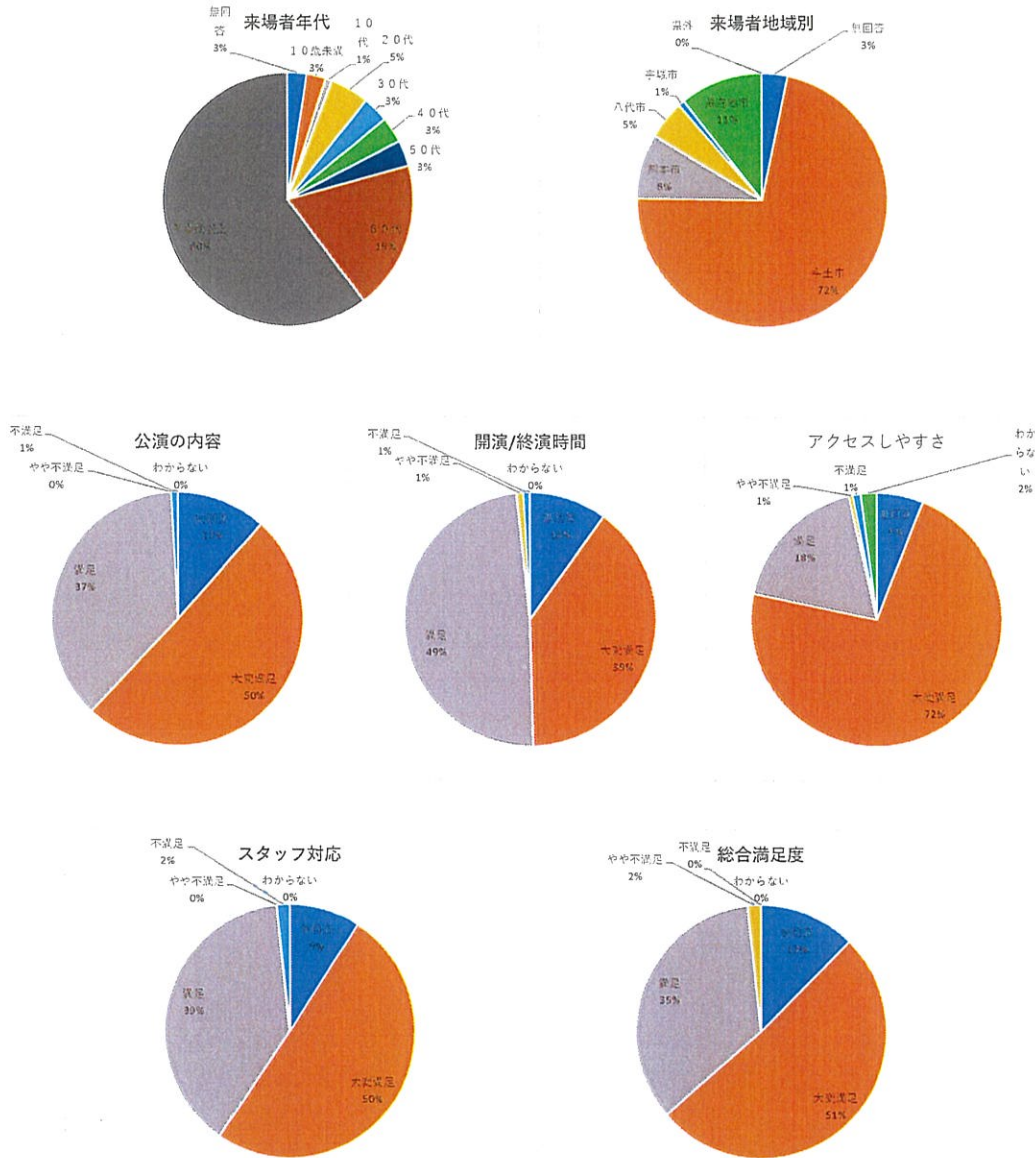
お話とても面白く聞かせてもらいました。自分は裏運氣ですが、楽しんで一年過ごしたいとおもひ。ありがとうございました。

すごく楽しかったです。自分のポキャブラリーを増やして、自分の仕事に人生に活かしていきたいと思ひました。ありがとうございました。いつか個人的に占ってほしいです。近い未来必ず会えますように。

さすが芸人さんという感じで、お話がすごくおもしろかったです。時間も丁度良かったし、宇土はとても来やすく会場大きさも丁度良かったです。おかげさまで、妹が占いに当たりました。

地域伝統芸能祭

令和5年2月19日（日）



感想（一部抜粋）

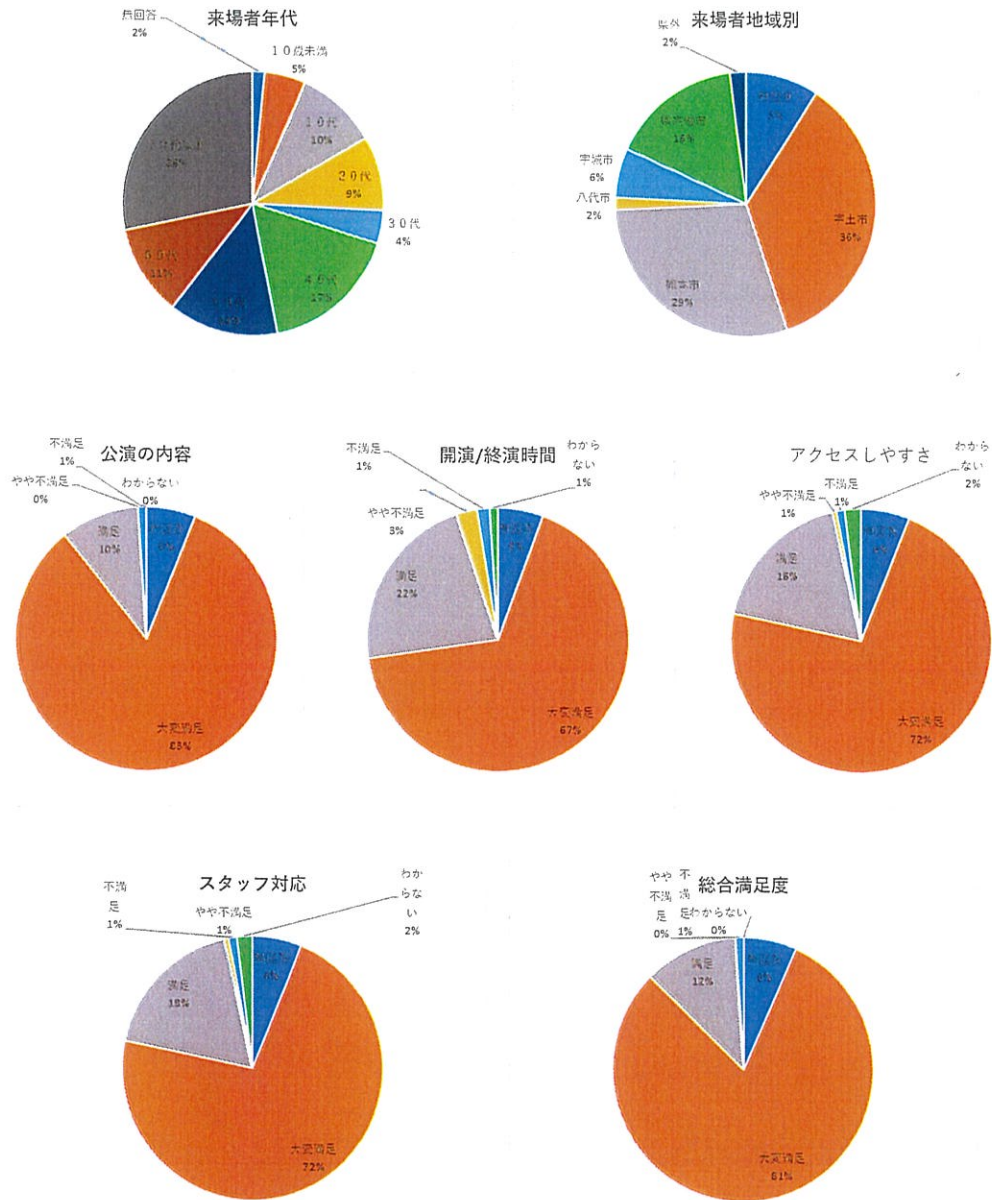
保存会の方々の熱心さが伝わりました。応援します。牛深ハイヤ、遠路ご苦労様でした。楽しかったです。市長の伝統芸能に対する思いも、強く感じられました。背景が各々に工夫されていて感動。

ハイヤ踊り以外は初めての芸能ばかりで、大太鼓にも感動しました。また、ハイヤ踊りでの道中踊りでは、観客者の参加も大勢あり嬉しく思いました。天草から出かけてきましたが、来て良かったです。ありがとうございました。

初めて大太鼓を間近で聞いて、雄壮で感動しました。是非いつまでも末永く継承して行って欲しいと思います。若い方々頑張ってください。御獅子舞、何十年ぶりで見させていただきました。残して行ってください。獅子舞がいつ頃どう生まれたのかとか知りたいです。子どもの踊りと獅子舞との関わりも教えてほしい。牛深ハイヤすごい。天草のお姉さん達すごい、頑張れ。元気をありがとう！！いろんな地域の小さな伝統芸能を発掘して、今日のような形で発表して行ってほしいです。

宇土太鼓祭～伝統と革新～

令和5年3月5日（日）



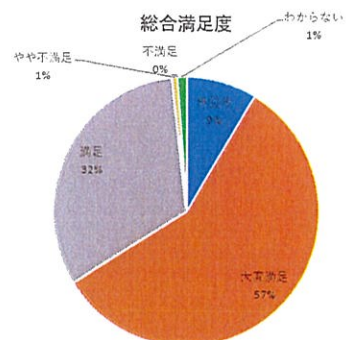
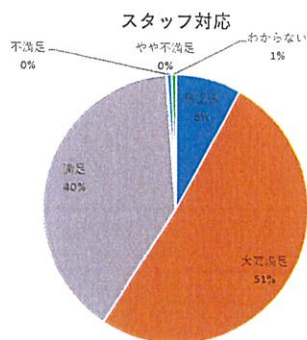
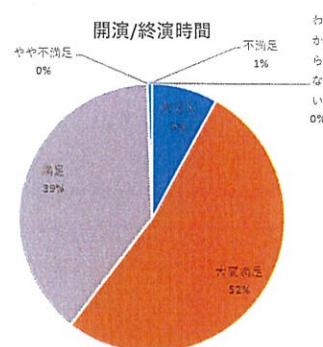
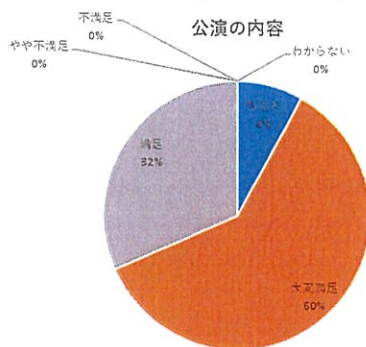
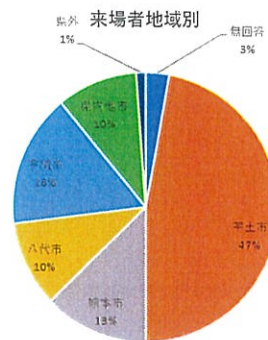
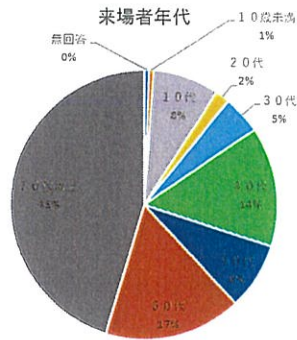
感想（一部抜粋）

演奏すばらしく、あっという間の楽しい時間でした。皆さんの努力が感じられ、感動しました。ありがとうございました。

演奏者の一人一人が洗練された素晴らしい演奏でした。全員が主役になり、誰1人失敗する事もなく表情が素晴らしかった。プロの歌手のコンサートにも行きますが、今までに断トツの演奏でした。こんなに感動したコンサートは初めてでした。本当に感動をありがとう。2000円は安すぎる。8000円出しても観に行きます。

演奏される方々の技術はもちろん素晴らしかったのですが、会場もステージも笑顔があって生き生きしていたからです。良い休日となりました。ありがとうございました。

第7回 春の音楽の祭典 令和5年3月12日（日）



感想（一部抜粋）

どのチームも、練習を十分積み重ねていられることがわかります。美しい声が、澄み切った中に通ってきて気持ち良かったです。

コロナ冬眠から覚めました。1部の選曲もとても楽しかった。子どもの登場には敵いません。2部の元気な女学生の姿を見ていると、明日の日本は大丈夫、思わず「ありがとう」と言っていました。素晴らしい一日をありがとうございました。

しっとりと命を歌いあげる思いを感じた。それぞれのグループの懸命さを感じた。力強い力を届けて頂いた。日々の練習のすごさを感じた。笑顔の裏に泣いた日があったのだろう。